

平成28年度音声教材普及推進会議

事例説明

「大田原市のデイジー教科書普及の取組」

大田原市教育委員会学校教育課

今日の説明

1 本市取組の背景

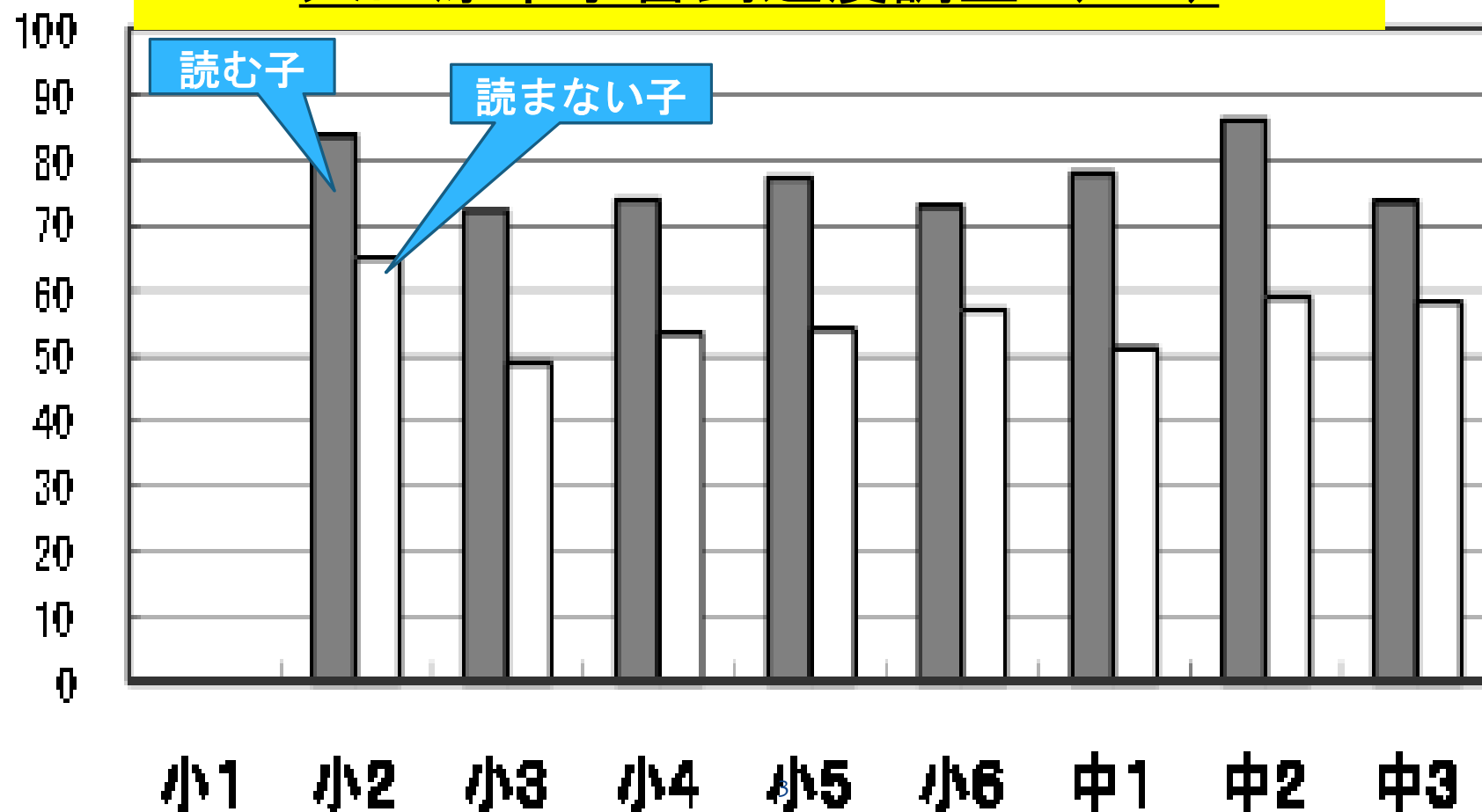
- (1) 読むことへの課題意識
- (2) 教育支援(就学指導)委員会の指摘
- (3) 大田原市の特色
- (4) MIMの取組
- (5) タブレットパソコンの配備

2 デイジー教科書導入への取組

- (1) 文部科学省委託事業
- (2) 今年度の取組

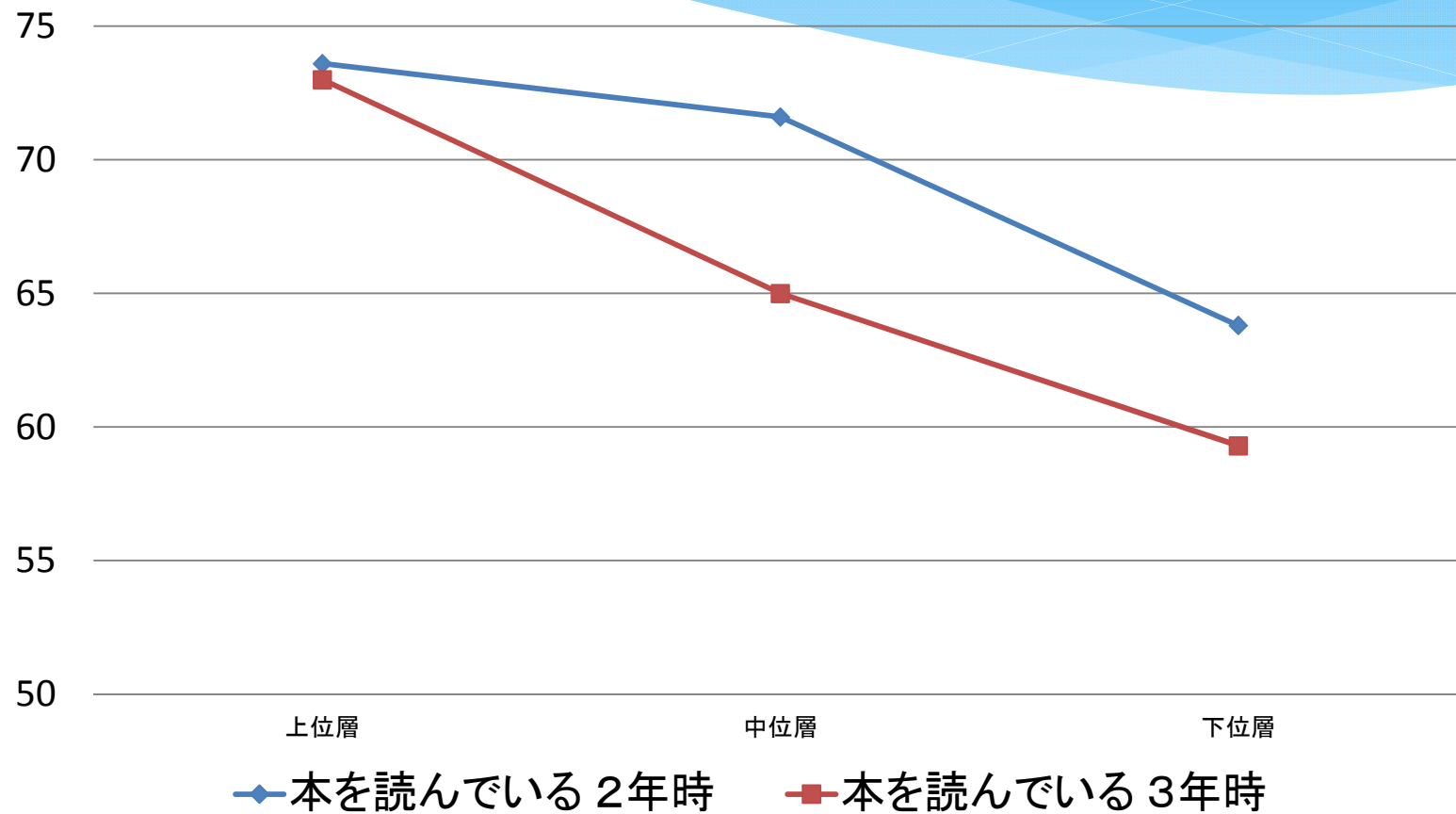
(1) 読むことへの課題意識

本や新聞をよく読む子と読まない子
大田原市学習到達度調査 (H22)



(1) 読むことへの課題意識

平成27年度市学習到達度調査と読書習慣



(2) 就学指導(教育支援)委員会の指摘

- * 毎年、協議が紛糾する児童
- * ○小学校5・6年生
- * ・WISCIVでFIQ90～110
- * ・学校の単元テストで10～20点
- * (平均85～90点)

(2) 就学指導(教育支援)委員会の指摘

A:「これで知的学級ですか？」

B:「中学校の学習のスピードで通常学級
についていけますか？」

C:「自閉症・情緒障害ではないでしょう。」

D:「通級で間に合う状況だろうか？」

E:「学校はこれまでどうして出してこなかったの？」

(3) 大田原市の特色

○大田原市の背景①

- 人口 約7万5千人
- 学校 小学校:20校、中学校9校

(大規模校数校と多くの小規模校)

→特別支援学級の設置が遅れていた。

(3) 大田原市の特色

○大田原市の背景②

国際医療福祉大学(学生約4千人)

- ・国際医療福祉リハビリテーションセンター
- ・国際医療福祉大学クリニック言語聴覚センター

→複数の小児神経科の医師(診断)
多数の言語聴覚士(検査・療育)
多数の作業療法士(療育)

(3) 大田原市の特色

○大田原市の背景③

5歳児検診(訪問型)への医師の参加

平成19・20年度文部科学省委託

発達障害早期総合発達支援モデル事業

→ **早い段階で医療・療育へ**

(3) 大田原市の特色

○大田原市の対応

平成25年度

市学習障害等支援モデル事業

平成26・27年度

発達障害の可能性のある児童生徒
に対する早期支援研究事業

平成28年度

発達障害に関する教職員等の
理解啓発・専門性向上事業

(4) MIMの取組

国立特別支援教育総合研究所 海津亜希子 氏 作成
多感覚からの学習をベースにした指導方法

促音のルール① 音の視覚化



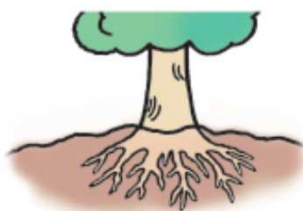
おとが
きえる

どう ちがうかな？

ね ●

っ ●

こ ●



ね ●

こ ●



つ
まる
お
と

(4) MIMの取組

日本語でつまずきやすい読み

特殊音節

- ① 促音(つまる)
- ② 長音(のびる)
- ③ 拗音(あわさってねじれる)
- ④ 幼長音
(あわさってねじれる+のびる)

(4) MIMの取組

読みのつまずきを発見できるアセスメント

MIM-PMテスト (早期発見)

1-2	7	6	5	4	3	2	1
ポタン	ポタン	べんきょう	かぼちや	はつけん	おむつ	おむつ	きつつき
エスカレーター	エスカレーター	ちようちん	しよくじ	ほへた	ていそ	かた	かた
ハンカチ	ハンカチ	りやうて	ちやんわ	まつくろ	こつさく	うわはき	ひよこ
パイナップル	パイナップル	こちよせんせい	さんりんしや	はびき	うんどうかい	のこぎり	がいろ
ヘリコプター	ヘリコプター	ひようじよう	しんじゆ	いぶん	せんぶうき	ざいがに	こたつ

1-4	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
クリーニングカンガルーゼリー	きゆうじつちゆうしんこきゆう	おちやぎよせんひやく	はらっぱどってきつぷ	すうじおうえんどうろ	けがあいだはがき	となりあしたなまえ	メロンテレビジョンネル	べんきょうほうちようきようだ	おもちゃやがいもでんしや	しっぽきつがつき	ようふくくきふくろう	ふじさんあいずかばん	ふくろけしきかたち
サンドイッチサトネルレモン	まんじゆうしやしよきようざ	こんにやくくじようくじやく	もつきんまつさおひっこし	ろつかどうちもろこしおじさん	はしごきぶんどんおとしだま	ふくろつさつまいも	ミシンマラソンスケート	きようみよじきようれつ	かぼちやしよしちよきん	しっぽきつがいつびき	ぞうこうていうんどうかい	ごはんながれほしばめん	かいものりすずいか
ホットケーキロケットジャングル	ひようたんちゆうがくせいけんきゆう	しゃぼんたまわうじよおたまじやくし	おつとせいなつどうねっしん	ぞうきんふうどうてんどうむし	すずめみつばちがいこく	りすくすりはかせ							

<p>7</p>  <p>ボタン ボタ ボタソ</p>	<p>6</p>  <p>ベんきよ ベんきよ ベんきよ</p>	<p>5</p>  <p>かぼちや かぼちよ かぼちや</p>	<p>4</p>  <p>はっけん はけん はっけん</p>	<p>3</p>  <p>おと おとお おとうと</p>	<p>2</p>  <p>おんかく おんかく おんかく</p>	<p>1</p>  <p>きつつき きつつき きつつき</p>
<p>14</p>  <p>エスカレーター エスカレーター エスカレーター</p>	<p>13</p>  <p>ちよちん ちよちん ちよちん</p>	<p>12</p>  <p>しやくじ しやくじ しやくじ</p>	<p>11</p>  <p>ほべた ほべた ほべた</p>	<p>10</p>  <p>ごちそ ごちそ ごちそ</p>	<p>9</p>  <p>しこと しこと しこと</p>	<p>8</p>  <p>かろた かろた かろた</p>

1-4

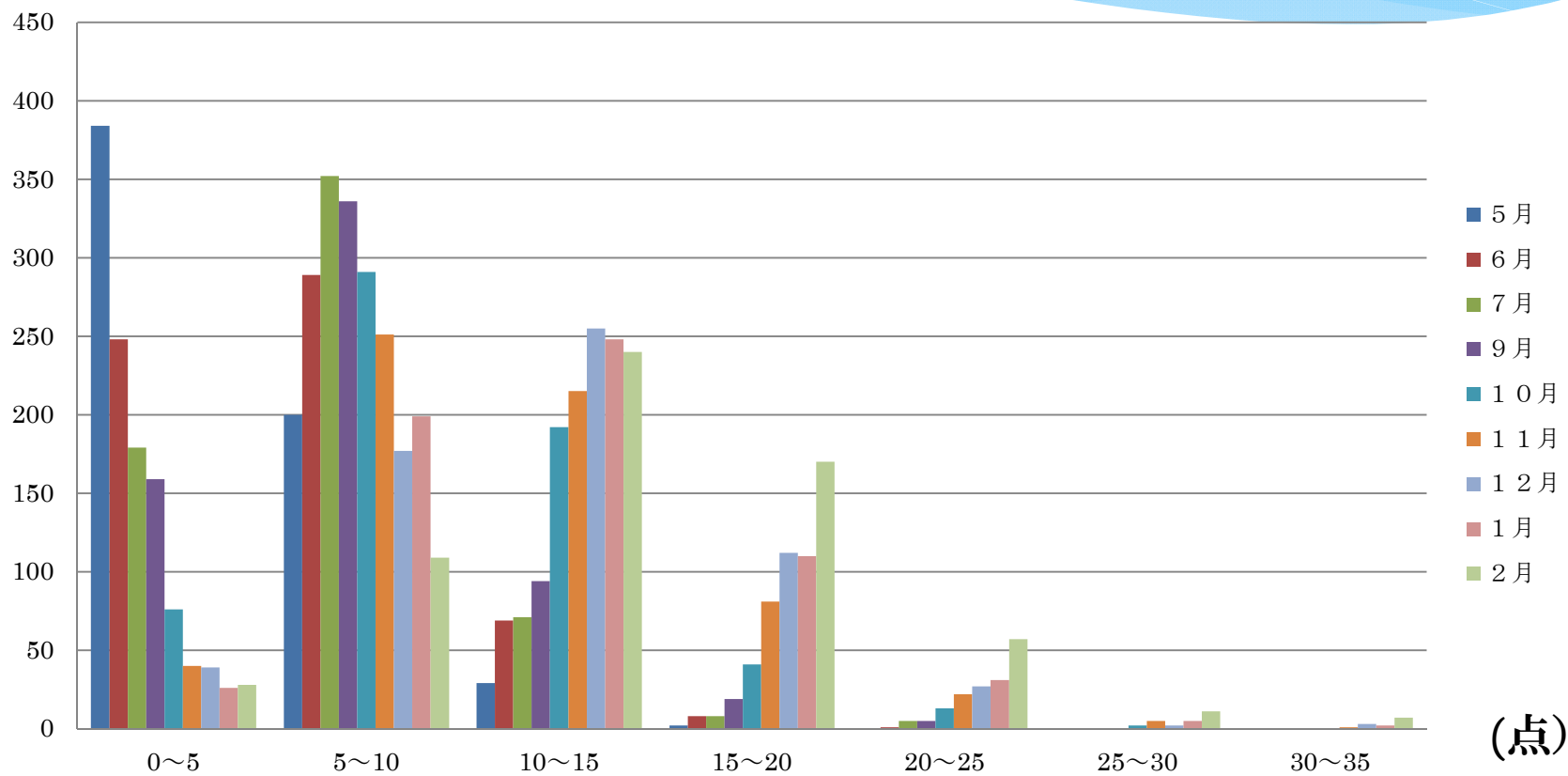
←はじめ

14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1
クリーニングカンガルーゼリー	きゆうじつうちゅうしんこきゆう	おちやぎよせんひやく	はらっぱとつてきつぷ	すうじおうえんどうろ	けがあいだはがき	となりあしたなまえ	メロンテレビトンネル	べんきょうほうちょうきょうだい	おもちゃじゃがいもでんしゃ	しっぽきつてがつき	ようふくくうきふくろう	ふじさんあいずかばん	ふくろけしきかたち

(4) MIMの取組

MIM-PM平均得点推移

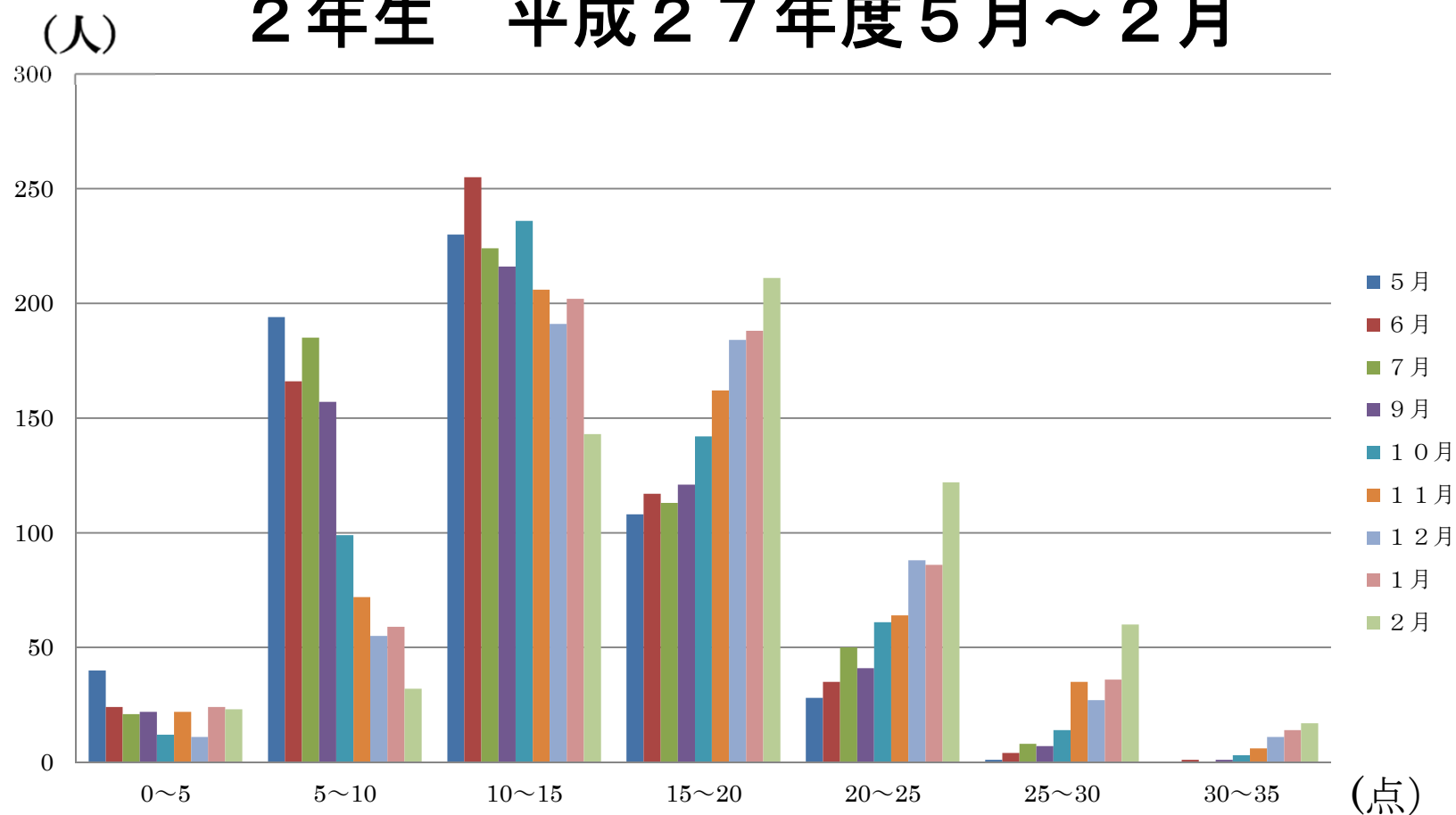
(人) 1年生 平成27年度5月～2月



(4) MIMの取組

MIM-PM平均得点推移

2年生 平成27年度5月～2月



(4) MIMの取組

○ひらがなが流暢に読めない児童の存在



○早期発見・早期支援が重要



○学級全体での指導、学級での個別指導



○それでも難しい児童への専門的指導支援



○専門機関との連携・通級指導での指導

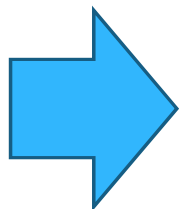
(5) 全校へのタブレットパソコン配備



(5) 全校へのタブレットパソコン配備

平成25年度から平成27年度3年間で
市内小中学校31校(分校2校)に配備

- 各教室に1台のタブレットと電子黒板
- パソコン室はすべてタブレットパソコン
- 中大規模校には加配備



持ち運びができ、様々な場所での利用が可能

2 デイジー教科書導入への取組

(1) 文部科学省委託事業

- ・平成26・27年度発達障害の可能性のある児童生徒に対する早期支援研究事業



発達障害支援アドバイザーの 学校訪問

宇都宮大学教職大学院 准教授
(元鹿沼市立みなみ小学校 校長)

原田 浩司 先生

2 デイジー教科書導入への取組

(1) 文部科学省委託事業

発達障害支援アドバイザーの助言・指導による取組①

- MIM-PMから詳細の検査の実施

- 「小学生の読み書きスクリーニング検査」(インテルナ社)

- 「特異的発達障害診断・治療のための実践ガイドライン」

(診断と治療社)



2 デイジー教科書導入への取組

(1) 文部科学省委託事業

発達障害支援アドバイザーの助言・指導による取組②

→ デイジー教科書の導入
(約 5校)

※1校は(公財)障害者リハビリテーション協会の
モニターに

- 朝の学習の時間を中心に
取り組む。



2 デイジー教科書導入への取組

(1) 文部科学省委託事業

発達障害支援アドバイザーの助言・指導による取組②

○デイジー教科書の導入の課題

- ① 保護者の同意を得ることが難しい
- ② 手続き等に時間がかかり、支援のスタートが遅れる
- ③ 大規模校ではタブレットパソコン利用の特別支援教育的利用が進まない。
- ④ デイジー教科書を利用する時間が確保できない。

2 デイジー教科書導入への取組

(2) 今年度の取組

ア デイジー教科書導入研修の実施

- ・対象：市内全小中学校教職員
- ・期日：6月30日(木)
- ・講師：(公財)障害者リハビリテーション協会
長田 江里 さん他
- ・内容：①デイジー教科書の特色
②デイジー教科書体験
③デイジー教科書の活用の仕方

2 デイジー教科書導入への取組

(2) 今年度の取組

イ 市内全校でのデイジー教科書導入

- ① 検査や授業観察で必要な児童生徒の確認
- ② デイジー教科書のタブレットインストール
- ③ 保護者・学級担任・特別支援教育コーディネーターの相談
- ④ デイジー教科書の使用開始

2 デイジー教科書導入への取組

(2) 今年度の取組

⑥ デイジー教科書使用記録の報告

各学校



市教委



(公財)障害者
リハビリテーションセンター
協会

デイジー教科書使用記録表

※ 使用者、学年、性別、使用した教科、使用した学年はド롭ダウンリストを使用してください。
 ※ 同じ使用者が複数のデイジー教科書を使う場合には、同じ使用者を複数行記載してください。

都道府県名	栃木県	
教育委員会名	大田原市教育委員会	
学校名	大田原市立〇〇小学校	
報告者名	与一太郎	

使用者	学年	性別	使用した教科	使用した学年	主な読みの困難さを記入ください。
1 A	3	男	国語	3	読みがたどたどしく、勝手読みをする。
2 A	3	男	国語	2	同一生徒であれば、困難さは1か所のみ記入で構いませんが、必ず入力してください。
3 A	3	男	算数	3	
4 B	5	女	社会	5	行が変わるとどこを読んでいるか分からなくなる。文字がぼやけて見える。
5					
6					該当学年より下の学年の教科書を使用した場合も入力してください
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					

2 デイジー教科書導入への取組

(2) 今年度の取組

ウ 通級指導担当者の専門性向上研修

(文部科学省委託「通級による指導担当教員等専門性充実事業」)

- ・対象：通級指導担当者・通級指導
- ・期日：7月29日(金)
- ・内容 ①デイジー教科書の特色
②効果的な使用方法
③保護者との連携



2 デイジー教科書導入への取組

(2) 今年度の取組

エ 「障害者差別解消法」施行に伴う教職員

- 対象：全小中学校校長、特別支援教育コーディネーター
- 期日：8月30日(火)
- 内容：①「障害者差別解消法」とは
②学校における「基礎的環境整備」について
③学校における「合理的配慮」について
- 講師：調布市立飛田給小学校校長 山中ともえ 先生
(中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会特別支援教育部会委員)

○最後に

大田原市の目指す方向

- ① 早期発見・早期支援
- ② どの学校でも取り組める支援体制
- ③ 保護者との協働による支援
- ④ 国際医療福祉大学と連携した支援

義務教育9年間を通して一人一人の児童生徒の学力を最大限伸ばす

植竹福二教育長

「学校不適應の原因の背景に学力不振がある。学力の保障が子供の可能性を伸ばす。」